

5. アンケート調査票

別紙資料をご覧の上、アンケートにお答えください。

公共施設等に関する市民アンケート ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃より市政に対するご理解、ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

酒田市では、これまで公共施設等を整備し、様々なサービスを提供してきましたが、現在保有する施設のほぼ半数を昭和40年代後半から50年代を中心に整備してきたため、老朽化が進み、今後、改修・建替えのために多額の費用が必要となってきます。

酒田市では、平成17年の合併以降、職員の削減、民間委託の推進等、様々な行財政改革の取り組みにより、子どもの医療費無料化の拡充や保育料の軽減などの子育て支援策、企業誘致等の雇用対策をはじめ、様々な施策を実施してきました。しかしながら、今後の人口減少による税収の減少や高齢化による福祉関係費用の増加など、財政状況は一層厳しくなることが予測され、これまで保有していた公共施設を維持し続けられ、新たなニーズに対応した施設整備や市民サービスの維持・向上を行っていくことが困難になることが予測されています。

これらのことから、酒田市では、平成27年3月に、公共施設の現状と将来見通しを踏まえ、限られた財源の下で様々な課題に対応し、どのようなまちづくりを目指していくのか考え、望ましい公共施設を次世代に引き継ぐため、効率的で効果的な公共施設等の量・サービス・運営等の適正化を図るための考え方をまとめた「酒田市公共施設適正化基本計画」を作成し、ホームページに公表しました。

また、未来の酒田市の姿・自治体経営の長期的な指針を示す新たな総合計画の策定に向けて、現在市民の皆さまから多様なご意見を伺っているところですが、可能性のある未来を築いていくためには、公共施設の適正化を進めていく必要があります。

つきましては、その参考とさせていただきます、市民の皆さまの公共施設の利用状況などお聞きするためアンケートを実施します。

お忙しいところ、誠にお手数をおかけしますが、本アンケートにご協力くださいますよう、よろしくお願ひします。

◆アンケートの記入にあたって

- 市内にお住いの18歳以上の方2000名を無作為に選ばせていただきました。
- 回答は、できるだけ宛名のご本人をお願いします。ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても構いません。
- アンケート記入後は、この回答用紙を同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**7月29日(金)**までに、郵便ポストに入れて下さい。(調査結果は、市ホームページに掲載)
- ご回答内容は、どなたが回答されたか分からないように統計的に処理しますので、ありのままにご回答ください。また、調査目的以外に使用することはありません。

【お問い合わせ先】 酒田市政府 総務課 行財政改革推進室
TEL : 0234-26-5378 FAX : 0234-26-6483 mail : gyokaku@city.sakata.lg.jp

※ 本アンケートの集計は、株式会社エイト日本技術開発東北支社に委託しております。

問 3 問2で「利用なし」と回答された施設についてお聞きします。その公共施設を利用していない理由を教えてください（施設ごとに○は1つ）

※各分類の施設については「資料 4ページ 公共施設一覧」をご覧ください。

分類	施設名	施設の存在やサービスを知らない	建物やサービス、利用時間、使用料など不満	自宅から遠い	利用する必要がない
行政施設（庁舎等）	市役所（各地区総合支所）	1	2	3	4
生涯学習施設	公益研修センター 他	1	2	3	4
集会施設	中央公民館 他	1	2	3	4
コミュニティ施設	各コミュニティセンター	1	2	3	4
産業振興施設	各農産物加工所 他	1	2	3	4
直売施設	各産直施設	1	2	3	4
保養観光施設	観光施設、温泉施設 他	1	2	3	4
博物館等	資料館、美術館 他	1	2	3	4
図書館		1	2	3	4
スポーツレクリエーション施設	各体育館、スキー場 他	1	2	3	4
保健福祉施設	健康福祉センター 他	1	2	3	4
医療施設	八幡病院 他	1	2	3	4
子育て支援施設	学童保育所、児童センター	1	2	3	4

問 4 将来的に公共施設やインフラ施設（道路、橋りょう、公園、上下水道等）の老朽化対策に必要な財源の確保が困難となりつつありますが、あなたはこのことについてどの程度関心をもちますか？（○は1つ）

1. 強い関心を持っている
2. 関心を持っている
3. あまり関心を持っていない
4. まったく関心を持っていない

問 5 酒田市では公共施設のサービスの向上を図りながら、施設数（延べ床面積）の削減を検討しています。そのことについてどう思いますか？（○は1つ）

※資料 3 ページ「酒田市公共施設適正化基本計画」をご覧ください。

1. 積極的に進めるべき
2. 進めたほうがいい
3. 公共施設はまだ不足しているので進めるべきではない
4. 既存の公共施設はすべて必要なもので、維持・更新すべき

問6 公共施設の統廃合や適正化を検討する場合、どのような施設から進めるべきと考えますか？
 (3つまで○をつけてください。その他の場合はカッコ内に自由にご記入ください)

1. 老朽化が著しい施設
2. 利用度や稼働率が低い(あまり利用されていない)施設
3. 維持管理や運営などコストがかかる施設
4. 同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣にある施設
5. 民間でも同じこと(事業)を行っている施設
6. 利用者が限定される施設
7. その他()

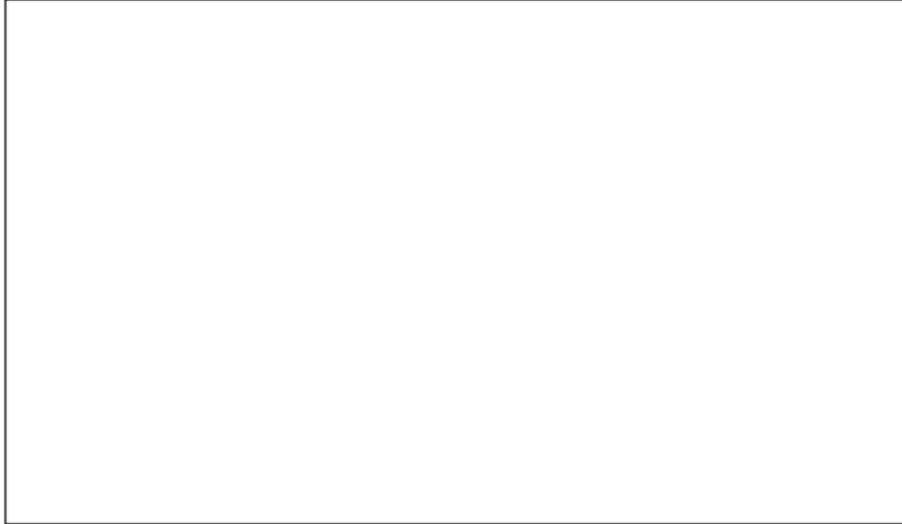
問7 統廃合等を進めると、施設が遠くなったり、今まで利用できた施設がなくなる場合もあります。このことについてどう考えますか。(○は1つ)

1. 受け入れられる
2. ある程度までは受け入れられる
3. 受け入れられない

問8 公共施設の運営コスト削減や、修繕・更新のための財源確保に向け、どのような施策を優先して進めるべきだと思いますか。(それぞれに○を1つ)

施策内容	実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない
施設の総量(施設数、延べ床面積)を減らす。	1	2	3	4
近隣の自治体と共同で施設建設や維持管理・運営を行う。	1	2	3	4
民間に管理運営を任せる等、民間の技術や資金を活用する。	1	2	3	4
現在ある施設を計画的に改修し、長く使用する。	1	2	3	4
使われていない施設の売却・貸付けで収入を得る。	1	2	3	4
各施設の必要な経費に見合うよう、使用料を引き上げて、利用者が負担する。	1	2	3	4
税のように、施設の維持や建替えの経費を市民全体で負担する。	1	2	3	4

問11 酒田市の公共施設等の今後のあり方について、率直なご意見をお聞かせください。



アンケートは以上です。返信用封筒に入れて郵便ポストに投函してください。

ご協力ありがとうございました。

6. アンケート添付資料

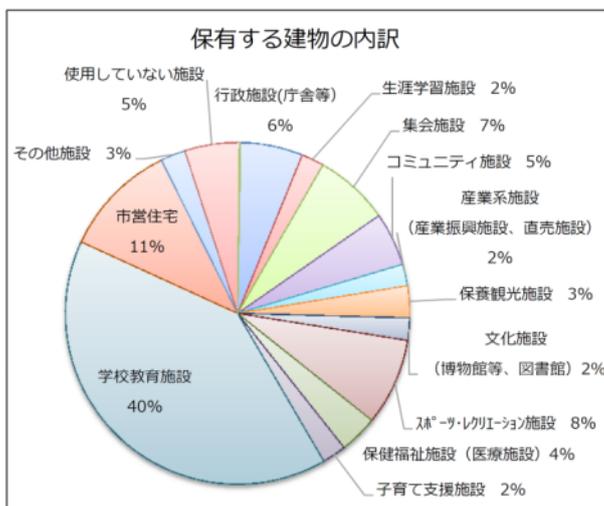
この資料をご覧の上、同封のアンケートにお答えください。

資料

酒田市の公共施設の状況

① 施設数は多く、多種多様な施設があります

- 酒田市の公共施設の人口一人当たり延べ床面積は約4.4㎡/人で、全国平均の3.4㎡/人よりも約1.3倍と多くの公共施設を保有しています。
- 市町村合併を行った自治体では、機能の重複した施設を複数保有するなど、施設の保有量が増加しており、酒田市においても同様の傾向が見られます。



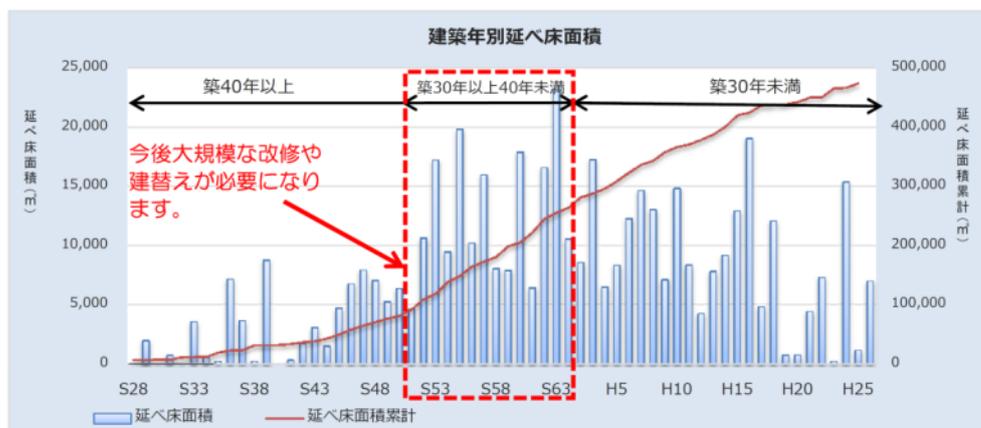
酒田市と他都市の一人当たり面積の比較

項目	一人当たり面積	酒田市との比較
酒田市	4.4㎡/人	—
全市区町村平均	3.4㎡/人	約1.3倍
人口11～12万人の26都市平均	2.9㎡/人	約1.5倍

出典：自治体別人口・公共施設延べ床面積リスト
(2012年1月、東洋大学PPP研究センター)
資料1・2参照

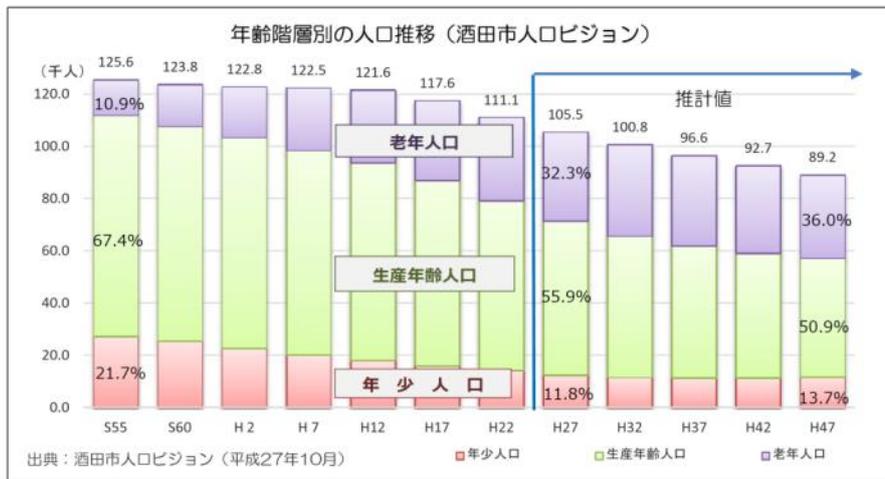
② 公共施設の老朽化が進んでいます

- 1970年代から1980年代にかけて、現在の公共施設の45.2%を占める公共施設が整備され、今後大規模な改修や建替えが必要と考えられます。



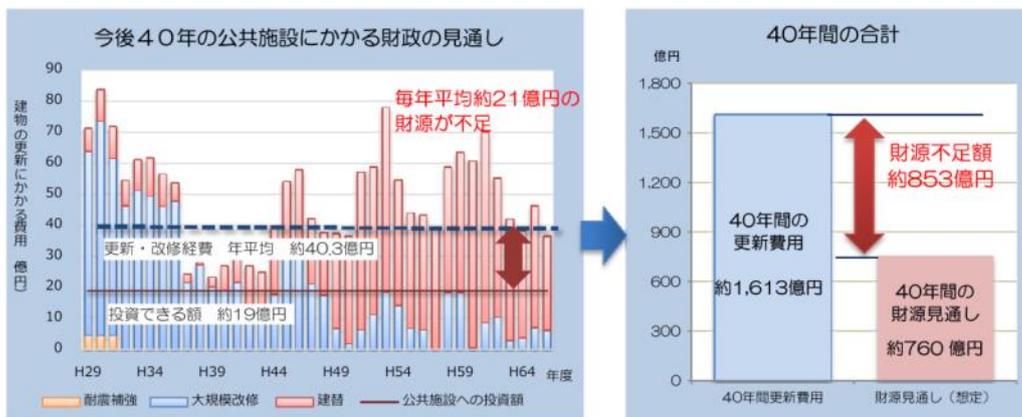
③ 急激に人口減少が進み、少子高齢化が加速します。

- 生産年齢人口の減少は、税収にマイナスの影響を与えます。
- 一方で、高齢化がさらに進行すると、社会保障費の割合が高くなり、財政に大きな影響を与えます。



④ 今後、公共施設の維持・更新に多額の費用がかかります。

- 公共施設を今後もそのまま維持していく場合、更新に係る財源不足額は約853億円、年平均では約21億円となります。
- 施設の複合化を行う等の施設総量（施設数・延べ床面積）の削減や、効率的な運営による維持管理コストの見直しを図る必要があります。



次世代に、安心・安全な施設を引き継ぐために

「酒田市公共施設適正化基本計画」を策定しました。

酒田市では、限られた財源の下で様々な課題に対応し、どのようなまちづくりを目指していくのかを考え、望ましい公共施設を次世代に引き継ぐため、中長期的な展望に立って、経営的な視点から公共施設の量と質の見直し（公共施設の適正化）を進めるため「酒田市公共施設適正化基本計画」を策定し、三つの原則と、将来更新費用の削減目標額を掲げました。

原則1 量的マネジメント

経営的な視点から施設のあり方を見直します。

- ① 施設の複合化・多機能化
- ② 施設の統廃合
- ③ 新設の抑制

原則2 質的マネジメント

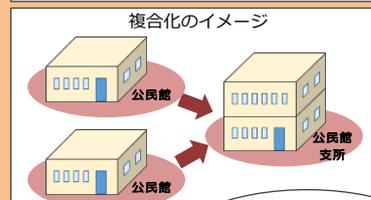
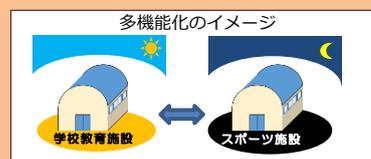
施設の安全性、サービスの向上を図ります。

- ① 耐震性の確保、防災力の向上
- ② ひとや環境に優しい公共施設の実現
- ③ 機能性・利便性の確保・向上

原則3 財政的マネジメント

運営コストの効率化を進めます。

- ① 予防保全による施設の長寿命化
- ② 公民連携等による経費の抑制
- ③ 施設管理・運営の継続的な見直し



複合化をすると、施設を増やさないだけでなく、利用者同士で交流ができるようになるのん

いろんなところにお金をかけるより、お金を集中させた方が、サービスが良くなるのん



将来更新費用の削減目標額 **860億円**

今後40年間の更新費用に関しては、総量（施設数・延べ床面積）削減による廃止・減床と、民間等施設の有効活用、予防保全による施設の長寿命化によりコストを削減するとともに、財源不足に対しては施設廃止に伴う行政コスト削減、行財政改革の推進等により対応します。



公共施設の適正化の進め方

公共施設の適正化を進めるために、今ある施設を最大限有効活用して、コスト削減と行政サービスの維持・向上の両立を図るためにも、皆さんの意見が必要です。

今後、意見交換や、市民参加の機会を設け、市民と行政が一体となって取り組みます。

問2、問3の分類ごとの施設についてはこちらをご覧ください。

公 共 施 設 一 覧

分 類	施 設 例
行政施設（庁舎等）	市役所、各総合支所
生涯学習施設	公益研修センター、出羽遊心館、清亀園、ひらた農村コミュニティカレッジ 拠点施設、ひらた生涯学習センターほか
集会施設	酒田市中央公民館（文化センター内）、交流ひろば、勤労者福祉センター、各地区農村環境改善センター、八幡交流ホール、悠々の杜活性化施設ほか
コミュニティ施設	各地区コミュニティセンター
産業振興施設	庄内バイオ研修センター、鳥海高原牧場、各農産物加工所ほか
直売施設	産直たわわ、めんたま畑、産直ららら、悠々の杜
保養観光施設	さかた海鮮市場、山王くらぶ、観光物産館、旧割烹小幡、鳥海山荘、鳥海高原家族旅行村、ゆりんこ、小林温泉、あいあい、さんさんほか
博物館等	資料館、旧鎧屋、写真展示館、美術館、文化伝承館、阿部記念館ほか
図書館	光丘文庫、図書館・分館等
スポーツ・レクリエーション施設	国体記念体育館、野球場、テニスコート、グラウンドゴルフ場、スキー場、キャンプ場ほか
保健福祉施設	市民健康センター、各地区健康福祉センター、身体障害者福祉センター、はまなし学園
医療施設	八幡病院、飛鳥診療所ほか
子育て支援施設	学童保育所、児童センター

※不特定の市民が自由に利用できる分類の施設を対象としています。

酒田市公共施設等に関する市民アンケート

平成28年9月

発行 酒田市（総務部総務課行財政改革推進室）
998-8540 山形県酒田市本町二丁目2-45
TEL 0234-26-5378 FAX 0234-26-6483
ホームページアドレス <http://www.city.sakata.lg.jp/>

集計 株式会社エイト日本技術開発東北支社